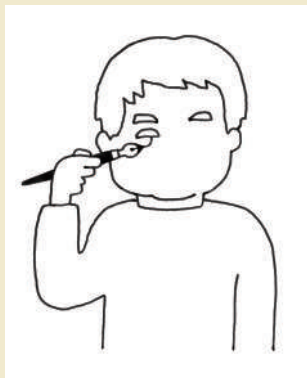


1 和田誠展

4月23日(土)-6月19日(日)

和田誠はイラスト、グラフィックデザインをはじめ映画、エッセイ、アニメーション、作詞・作曲、編集など様々なジャンルで活発な創作活動を行いました。本展は、その膨大で多岐にわたる仕事的全貌に迫る初めての試みです。和田誠を知るうえで欠かせない30のトピックを軸に、83年の生涯で制作した多彩な作品や資料およそ2,800点を紹介します。



©Wada Makoto

CAMK Contemporary Art Museum, Kumamoto

2022 Exhibition Schedule

熊本市現代美術館

2022年度 展覧会スケジュール

5 坂口恭平日記

2023年
2月11日(土・祝)ー4月16日(日)



坂口恭平
〈三角郡浦の交差点〉2020年
作家蔵

熊本出身・在住の坂口恭平は、写真集「0円ハウス」をはじめ、小説やエッセイを数多く発表。その創造は留まることがなく、音楽や絵画、畑での農作にまでいたっています。本展では、バステル画を中心に、坂口の思考と創造の営みを紹介することによって、私たち自身の生きる日々を見つめ直します。

熊本市現代美術館開館20周年記念

2 不思議の森に棲む服

ひびのこづえ×KUMAMOTO展
7月2日(土)-9月19日(月・祝)

コスチューム・アーティストのひびのこづえと当館は2010年より交流を深めており、本年いよいよ満を持しての個展です。ひびのの作品は、カエルやカブトムシ、海の生き物、マンモス、骨など、地球に存在するありとあらゆる生き物、現象、人工物がそのアイデアのヒントです。美術、音楽、ダンスの領域を超え、ジャンルをミックスして生まれる不思議な美の世界をお楽しみください。



ROOTの衣装で踊るアオイヤマダ
2021年
photo 上原勇

3 PAPER:かみと現代美術(仮)

10月1日(土)-12月18日(日)



安部典子(Shadows and synchronicity)
2019年 作家蔵
©Noriko Ambe Courtesy of
MAHO KUBOTA GALLERY
photo: 顧剣亨

紙は私たちの暮らしに、そして美術にとっても、欠かせない基本的な素材です。本展では、紙や紙製品を重要な素材として見出し、独自の表現を追求している現代アーティストをご紹介します。誰にとっても馴染みのあるこの素材をとおして、彼らが投げかける問いは、私たちの日常や価値観を様々な角度から照射することになるでしょう。

4 第34回熊本市市民美術展

熊本アートパレード

2023年1月7日(土)-1月22日(日)

15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募展です。

2022 EXHIBITION SCHEDULE

ギャラリーIII

入場無料

九州・熊本ゆかりのアーティストを中心に紹介する企画展示室です。

井手宣通記念ギャラリー

入場無料

井手宣通の作品をはじめ、収蔵作品を中心に紹介する展示室です。